

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和5年度第2回河内長野市文化財保護審議会
2 開催日時	令和6年2月8日(木)午後1時30分から
3 開催場所	河内長野市役所 7階 行政委員会室
4 会議の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・議案第1号議事「令和4年度事業評価」について</li><li>・議案第2号議事「令和6年度事業計画(案)」について</li><li>・その他</li><li>・河内長野市指定文化財 梶谷家住宅の名称変更について</li><li>・河内長野市文化財保存活用地域計画の改訂について</li><li>・新規国登録有形文化財(建造物)について</li><li>・河内長野版歳時記プロジェクトの進捗状況について</li><li>・高向上原遺跡発掘調査の進捗状況について</li></ul>
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 生涯学習部文化財保護課 (内線742)
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

# 令和5年度第2回河内長野市文化財保護審議会 議事録

日時：令和6年2月8日（木）13：30～

出席者：

中村会長、吉原副会長

北川委員、中井委員、山田委員、小谷委員、井上委員、富島委員

小川部長、伊藤課長、福本課長補佐、鈴木係長、島津副主査

## 1. 開 会

部長あいさつ

中村会長あいさつ

## 2. 案 件

議案第1号 議事「令和4年度 事業評価」について

議案第2号 議事「令和6年度 事業計画（案）」について

### 議案第1号

「令和4年度 事業評価」について（内容説明）

（山田委員）

令和4年度の事業実績はコロナ禍であり、ふる森などの利用者がある程度制限されていたと思う。よって、その事業実績を令和6年度事業計画（案）に反映させるのは少し無理がある。

令和6年度はコロナ禍の制限が緩和されたので、多くのイベントを企画するなどして予算を追加するべきではないか？

（福本補佐）

確かに令和4年度の入場者数やイベントの参加者数は減少しているが、予算については、コロナ禍に関わらず減額していない。令和6年度についても今までと同程度の予算を確保する方向です。

（伊藤課長）

ふる森などは職員を雇用している関係で人件費を削る訳にはいかず、現状維持で行かせていただいた。もちろん宿泊者は少なくなっており、歳入も減少していることは事実です。

また、指定文化財の保存事業については、コロナに関わらず実施し、文化財の保護に努めるようにしました。

（北川委員）

ふるさと歴史学習館の入館者数が減少していることは概ね理解しますが、その入館者数が以前と比べてどれくらいあったのか比較検討する材料がないと事業評価は難しいと思います。

日本遺産関連のイベントなどについても実参加者とウェブ参加者の比率がいくらあった

のか分かれば有り難い。

(小谷委員)

私の勤めている八尾市では毎年教育委員会から市民を対象に満足度のアンケート調査を実施している。そのような調査の結果を受けて資料館の改修工事を行ったりしているので、ぜひ市民の声を行政に反映させる取り組みを行ってほしい。

(山田委員)

ふる森の梶谷家住宅のグーグルによる口コミの評価は結構良かった。例えばトイレが綺麗、入館料が無料、茅葺民家で落ち着くなど、職員さんが丁寧に対応して頂いている結果だと思った。

但し、ウェブ上で梶谷家を検索すると教育委員会のホームページに繋がり、堅苦しい説明がされているので、もう少し楽しい説明文やイラストなどを工夫して、歴史遺産活用事業を紹介されたら良いと思う。

あと、梶谷家の説明文に誤字があり、訂正されずそのままになっているのが気になるので、対応して頂きたいと思う。

(鈴木係長)

ふるさと歴史学習館やふるさと文化財の森センターの職員が自分達でホームページに紹介文をアップしている。特に担当課で予算化はしていない。

(伊藤課長)

委員ご指摘のとおりホームページの紹介文は大変古いので、誤字・脱字、表現方法も含めて今後改善して参りたいと思う。

(中井委員)

指定文化財の保存事業はすべきことであって、それが事業評価にどう繋がるのか私には分からない。当然出来たということにしかないと思う。

今回何故評価の方法を変えられるのか、必要性や期待する効果が理解出来ない。

(福本補佐)

以前までは事務局での評価に対してご意見を頂く方法であったが、次年度以降の事業計画(案)に反映させていくためには事業実績を基に評価していただく方法が適当と思われたので、このような方法に変更しました。

(井上委員)

今回の議案書を見る限り、審議会で審議してもらいたいのは事業自体を評価するのではなく、事業評価の方法やシステムを検討すると理解してよろしいのか。

(福本補佐)

その通りです。

(井上委員)

そうであれば、以前の評価はこうです、今回事務局としてはこのような評価を考えていますという資料が必要ではないか。ゼロベースから評価の方法を考えるのは大変なことで

ある。

それと審議会での評価、教育委員会での評価、市での評価がどのようにリンクするのかが分からない。それら全体を包括した評価が本来望ましいと思われる。

また、資料に誤字・脱字が多い。議案書の第2号は報告案件である。施策の成果についても何回も見直す機会があったが、誤字が見受けられる。市民の目に触れるものであるので、もう少し丁寧に確認しないとイケない。

(伊藤課長)

どのように評価して頂くか、今回の資料や説明では十分でないと思われるので、改めて次の機会に提案させて頂きたいと思います。

(吉原委員)

コロナ禍とコロナ禍以前とどのような対応をしたか、しっかりと資料を残しておくべきと思う。将来このようなことが起こらないとは限らないので。

更に評価の目的とか手法は行政でお考えになっていると思うので、講座等に参加された方を対象にアンケートを実施し、いい評価を事業に反映させることが効果に繋がると思う

(小川部長)

評価制度は難しい課題であると感じております。特に文化財行政は数が増えたからAとか、何々が出来たからBだとかCだとか馴染みにくい分野であると思います。

コロナ禍とそれ以前でどうであったか、指定文化財の保存事業は当然やるべきことであるが、厳しい財政状況の中でどのように予算を確保出来たかなど、本日の各委員のご意見を踏まえて再検討させて頂きたいと思います。

## 議案第2号

「令和6年度 事業計画(案)」について(内容説明)

(小谷委員)

ふるさと歴史学習館は古い建物と思われませんが、建築から何年が経過していますか？

(島津福主査)

平成9年度に開館していますので、今年度で27年目になります。

(小谷委員)

それは新設ですか？

(島津福主査)

新たに建設しました。

(小谷委員)

27年も経つと老朽化が著しく、改修が必要になってくると思います。

(島津副主査)

数年前に屋根の防水シートの改修工事を行っております。平成9年度にふれあい考古館として開設した施設を平成21年度に内部の間仕切りなどを改修してふるさと歴史学習館

として再オープンしております。但し、空調設備など多くの設備に不具合が生じているのも事実です。

(小谷委員)

私どもの市の施設では大体20年から30年の間で改修に2億円程度使っている。結構お金がかかるので、ふるさと歴史学習館もこれから準備をしておく必要があると思われる。

(中井委員)

埋蔵文化財発掘調査事業で1,200万円(会計年度任用職員の手当等)ということですが、民間開発に伴う埋文発掘調査は増減しているのかお聞きしたい。

(島津副主査)

毎年文化財保護法による手続き関係は100件前後と大きく変わりはないのですが、個人住宅の試掘等については令和4年度で20件程度、最近は大規模開発に伴う土地区画整理事業の埋文調査が主なもので、その殆どは人件費が占めております。

また、重機の使用に伴う委託料は年間50万円程度と横ばいの状況であります。

(吉原委員)

観心寺の鉄燈籠はどのようなものか?

(鈴木係長)

資料3の2枚目写真中央にあります。これは2年前に京都国立博物館で展示した時の写真です。鉄製で全面を錆が覆っており、自立しない状態となっております。

現在、京都国立博物館に寄託されており、3分割にて保管されております。この4月から修復作業を開始しますが、錆の除去の他に支持具で燈籠を支えるようにして、今後展示も行えるようにするとのことです。

(小川部長)

予算の箇所を補足させていただきます。滝畑ふるさと文化財の森センターはコロナ禍が明けて利用者も戻ってきていて評判も非常にいいと聞いております。空調やトイレの改修のほか、豊かな森林づくり基金を活用しまして河内材による椅子や机の整備などの予算も確保し、快適性・利便性を求めるよう努力しております。

#### その他

- ・河内長野市指定文化財 梶谷家住宅の名称変更について：意見なし
- ・河内長野市文化財保存活用地域計画の改訂について：意見なし
- ・新規国登録有形文化財(建造物)について
  - ※山田委員より旧中村家住宅の評価の概要について解説
- ・河内長野版歳時記プロジェクトの進捗状況について
  - (北川委員)西代神楽の元になった伊勢大神楽についても可能であれば聞き取りなどを行ってほしい。
- ・高向・上原地区遺跡発掘調査の進捗状況について
  - (山田委員)現場説明の広報の仕方を工夫して、SNSなどで見てもらうための表現を考えてはどうか。